



No.6 令和3年11月22日(月) 2021-6号 (隔週発行)

発行責任者: 松江総合医療専門学校理事長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

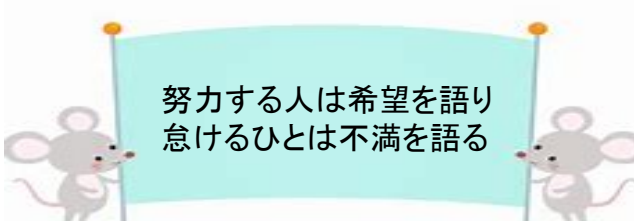
## ◆コロナ関連

日本全体の新規感染者は100人前後で推移し、兵庫県は11月22日、昨年7月3日以来のゼロ人となりました。

一方、ワクチン接種で先行していたはずの欧米ではパンデミックは収まらず、ドイツでは新規感染者が1日6万人で過去最多となっています。また、オーストリアやオランダなどでは、ワクチン接種の義務化やロックダウンをめぐる暴動がおきています。

日本が欧米に比べけた違いに感染者が減った原因として、日本が島国であること、きれいな好きで手洗い・消毒をよくする、風呂好き、家の中に土足で入らない、人前でのハグやキスの習慣がない、長いひげを伸ばす人が少ない、マスクを嫌がらずにつける、大きな声でじゃべりまくる人が少ない、マスクを外してデモをしない、ワクチン開始時期がちょうどよかった等が考えられます。

それでも皆さんは油断せず、完全収束もしくは有効な治療薬が出るまでは、今まで通り三密を避け、マスクをつけ、手をよく洗うようにしましょう。



努力する人は希望を語り  
怠けるひとは不満を語る

## ◆北里柴三郎

日本の細菌学の父で、明治から大正にかけて大活躍しました。東大を出てから、ドイツのコッホに師事し、破傷風菌の培養やジフテリアの血清療法を開発しています。

帰国後は細菌学の重鎮として、北里研究所を設立し、赤痢菌の志賀潔、黄熱病の野口英世など多数の細菌学者を育てました。

当時の細菌学は今でいう遺伝子学のような最新医学であり、北里は世界をリードする数々の業績を残したのです。

## ◆医学の勉強 その1

医療は理科系だという話をよく耳にします。何をもって理科系かはよく分かりませんが、医学部の入学試験で、数学や物理や化学が必須であった歴史があり、そのために理科系といわれているのかも知れません。

私も、ほぼ半世紀前に医学部を受験したときは、数Ⅲ、物理、化学を猛勉強した記憶があります。ただ、入学してからも外科医になってからも、数Ⅲはもちろん三角関数ですら一切役立ったことはありません。物理、化学も同様で、あれだけ勉強したのが何だったのかと思ったことがありました。

医学の勉強は、体の解剖や生理からはじまり、各分野ごとの病気や診断や治療などを学びます。覚えることは色々ありますが、先の述べたように理科系の素養は一切不要であり、そういうことから考えると、医療は文化系の仕事といえます。

医学の勉強は面白いかといわれると、面白いばかりではありませんが、戸惑いながらもまったく知らない人間の体のことを色々と学んでいくにつれて徐々に興味がわいてきます。

今はカリキュラム上、解剖・生理から始まります。いきなり骨や筋肉や神経や血管や各臓器の解剖を習うとチンプンカンプンのことばかりで???といった感じになるでしょう。ただ、それから、その臓器の役割である生理学を学び、その臓器ごとの病気の原因、診断、治療を学んでくると、だんだん身近なものに感じられ、面白くなってきます。

解剖や生理を基礎医学、診断や治療を学ぶのを臨床医学といいます。

ちなみに、神戸総合医療専門学校の三木校長は神戸大学医学部で基礎医学の解剖学の教授をされていましたし、私は卒業後は臨床医学の外科一筋でやってきました。

今回は、臨床実習などについてお話します。